

河内山 646.8m

地形図「中河内」

ポンポン山雑感

2022年11月8日

三鍋敏郎

## 美しく快適な尾根歩きが楽しめる山

余呉トレイルの山で以前から気になっていた中河内から登る「河内山」敦賀方面では「池内山」と呼ばれる 646.8m の山に今回挑戦した。

中河内集落にある広峰神社の前に車を止め登山準備。国道 365 号線を北上していた時に降り始めた雨は止み、空の一部が少し明るくなり青空も少し覗く。

集落の手前にある尾根の鼻、標高点 433.8m の近く辺りを探ると登山道が見つかった。道は広く古代から利用されていたのか荷馬車などで抉れて切通しになっているので若狭との交流道路だったと思われる。



自然林の中の山道は快適に続いている。全体が自然林でブナの木もまじりタカノツメやコシアブラなどの黄葉も美しい。稜線に近づくと昔使われていたコンクリート製の郵便中継ポストがある。人が立って二三人入れるほどの広さ。この辺りは余呉湖から北に連続する 600m 前後の山並みに東西に分断された地形なので、山越えが一番効率が良いのだろう。双方から尾根まで郵便物を担ぎ上げて中継ポストに入れて互いが持ち帰る。建物の屋根には「〒」のマークがあるので昭和のはじめ頃まで使われていたのだろうか。尾根筋は見事なブナ林に覆われていた。特に P 601m 辺りの稜線は広々として見事なブナ林が広がっている。快適な稜線歩きは全員鼻歌交じりになるほど気持ち開放され、河内山山頂までアップダウンも少なく快適な散歩道。落ち葉もフカフカでブナの黄葉もカエデの紅葉も美しい。

河内山山頂は樹林に囲まれあまり展望はないが池河内辺りや蒼い山並みが木々の間から見える。山頂広場の日当たりの良い場所でランチタイム。

ランチ後は再び北に向かう。少し下り、小ピークを越えると右手に池があり辺りの紅葉

が美しい。

これからのルートも尾根が複雑に絡むので読図が難しい。慎重に方向を確かめながら歩く。突然雨が降り始めた。カッパや傘を差し斜面を歩く。獣たちがヤブを避けてトラバース気味に歩いているのでそれに従う。下降点のピーク 620mから下山予定尾根にある P622mの手前の鉄塔を目指す。



鉄塔下で身支度を整え下山コースの尾根を探すが、ここにも米買い道らしき痕跡がありそれを辿る。ほぼ尾根筋を下っているが長年使われていないのでヤブが被る場所があるがそれほどの障害もなく歩ける。網谷川沿いの道に出ると。土木作業中で、林道がぬかるんでいる。コマユミの実が赤く輝いている。対岸の陽光を浴びる黄葉を眺めながら歩くと民家が見えて来た。村人に挨拶すると、優しい言葉が返ってくる。



★メンバー 三鍋他、4名 ★コース 神社 9:30～P601m10:28 発 32～河内山 11:20 発 11:58～下降点 620m12:43～林道 13:20～神社 14:05